

| | | | |
|-------------|--------------------------------|---------|----|
| ふりがな 氏 名 | ほりえ のぶゆき 堀江 信之 | 職 名 | 教授 |
| 取 得 学 位 | 博士(理学) | 学会での受賞歴 | |
| 主な担当科目 | 代謝生化学、分子生物学、生化学基礎実験、生化学応用実験 | | |
| 所 属 学 会 | 日本生化学会、日本分子生物学会、日本薬学会、日本公衆衛生学会 | | |

◆ 教育業績

| 事 項 | 実 施 年月(日) | 概 要 |
|--|--------------------------------|---|
| 1. 教育方法の実践例 (1)パワーポイント、マルチメディアを活用した授業方法、「生化学 2(代謝生化学)」、「分子生物学」、「栄養生理・生化学特論」 | 平成 31 年 4 月より | 管理栄養士養成課程の2年生対象の「生化学2」、3年生対象の「分子生物学」、および大学院生活学研究科、食物栄養学専攻(修士課程)の「栄養生理・生化学研究」の授業のため、パワーポイントの資料(15 回分)を作成した。それぞれの授業で、理解に役に立つビデオ教材をパワーポイント資料に組み込み、利用できるようにした。また、「生化学 2」や「分子生物学」では、水素結合の理解に役立つ水の分子や、核酸塩基の静電ポテンシャルを表示した分子模型を、量子化学計算ソフトウェアを用いて作成し、授業に利用した。「栄養生理・生化学研究」では、遺伝子解析についての動画による教材を作成した。さらに、ホルモンレセプターなどのタンパク質の分子モデルを題材にし、CHIMERA などのソフトウェアを用いて、タンパク質構造と機能の関係について理解を深めるための動画を作成した。 |
| 2. 作成した教材等 (3)「生化学基礎実験」実験書の作成 | 平成 31 年 4 月 | 健康科学部の新設に伴い、旧生化学実験 1 の内容を見直し、新しい管理栄養士国家試験問題を含む演習問題を加えて、生化学基礎実験のための実験書を作成した。 |
| 3. その他 (1)平成 30 年度 大学連携講座、若い(老化)について-個体、細胞、遺伝子の立場から-第 1 回「若いを理解する」、第 2 回「若いと戦う」 | 平成 30 年 2 月 7 日、2 月 14 日 | 春日井市からの依頼により、老化に関する市民講座を担当した。市民を対象に、老化について、現在の老化理論から、細胞学、遺伝子に関する事項など最新の話題も含め解説した。テーマ:(春日井市、南部ふれあいセンター) |

◆ 研究業績

| 区分 | 著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称 | 単・共 | 発行・発表年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名) | 備考 |
|------|---|-----|------------------|---|---|
| 学術論文 | セルロースアセテート膜電気泳動法による血清リポタンパク質の分析条件の検討 | 単 | 平成 30 年 4 月 | 名古屋女子大学紀要、64(家・自)、39-45、2018 | pp.37-45 |
| | 個人の組織から分離された繊維芽細胞およびそれらから作成された iPS 細胞のエピジェネティッククロック解析 | 共 | 平成 31 年 3 月 | 名古屋女子大学紀要、65(家・自)、27-38、2019 | 堀江信之、高橋和利、加治和彦、pp.27-38 |
| | Comparison between Eating Habits Improvement by Using the Caloric-Tofu and Gene Analysis Result—For Young People | 共 | 平成 31 年 6 月 | <i>J. Heal. Sci.</i> , 7 , pp.143-150 | Naomi Katayama, Yui Nakayama, Shoko Kondo, and <u>Nobuyuki Horie</u> , pp.143-150 |
| | Results of Body Composition Improvement by High Caloric-Tofu Intake—At the Start of the Experiment, at the End, and Six Months after the End for the Case of Adolescents | 共 | 平成 31 年 6 月 | <i>J. Heal. Sci.</i> , 7 , pp.176-184 | Naomi Katayama, Yui Nakayama, Shoko Kondo, and <u>Nobuyuki Horie</u> , pp.176-184 |
| | 学生実験のための卵白フラボプロテインの簡易精製法の検討 | 共 | 令和4年 3 月 | 名古屋女子大学紀要、68、11-17、2022 | 堀江信之、pp. 11-17 |
| 学会発表 | 摂食・えん下障害における QOL 向上の改善策の検討Ⅱ—摂食・えん下評価票の比較— | 共 | 平成 29 年 11 月 2 日 | 第 76 回日本公衆衛生学会総会(かごしま県民交流センタ) | 五藤泰子、木下ゆり、堀江信之、演題番号:P-0902-4、要旨集、p.552 |
| | 単一の個人から分離された線維芽細胞及びその細胞から作製した iPS 細胞のエピジェネティッククロックの解析 | 共 | 平成 29 年 12 月 1 日 | 2017 年度分子生物学会、生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017) (神戸ポートアイランド) | 堀江信之、加治和彦、高橋和利、演題番号:3PT26-01 (3P-1057)、プログラム p.216,p.502 |
| 学会発表 | 単一の個人から分離された線維芽細胞(ASF-4)を用いた細胞老化関連遺伝子群の同定 Identification of cellular senescence-related genes using genome-wide transcriptome analysis of ASF-4 series of fibroblasts prepared from a single donor at different ages | 共 | 令和4年 11 月 30 日 | 第 45 回日本分子生物学会年会(幕張メッセ 国際展示場) | 堀江信之、加治和彦、演題番号 1AW-15-6, 1P-781 |